

被覆群に対する局所 Langlands 対応とその幾何化

今井直毅

局所 Langlands 対応とは p 進代数群の表現と p 進 Galois 群の表現の関係に関する対応です。最近 Fargues–Scholze は、局所 Langlands 対応の幾何化を定式化し、それを用いて局所 Langlands 対応の半単純化を構成しました。一方で、 p 進代数群の位相的な被覆群に対しても、局所 Langlands 対応が存在することが期待されています。本講演では、局所 Langlands 対応の幾何化を概観し、それを被覆群に一般化する試みについて紹介します。講演内容は、Tony Feng 氏、Ildar Gaisin 氏、越川皓永氏、Yifei Zhao 氏との共同研究に基づきます。